



広報 たちばな

第11号

平成19年9月1日発行

(財)日本医療機能評価機構認定病院
橘 病院
TACHIBANA HOSPITAL
<http://www.tachibana-hospital.jp>

ドクタートーク

内科医 名越 康子



2005年12月より宮崎大学第一内科より内科非常勤医として派遣されてあります名越康子といいます。毎週金曜日に診療を行っています。当院では主に術前の内科評価や入院患者さんの内科疾患について診療させていただいてあります。普段は宮崎大学医学部附属病院第一内科で主に循環器疾患の患者さんの診療を行っています。

ところで、普段病院にかかっていない患者さんが術前評価で内科受診をされる場合、多くは膝や股関節が悪いと自覚はあっても、ご自分に内科的問題があるとは思ってあられません。しかし、内科の病気がみつかることは珍しくありません。内科的に問題があることを告げると、「そんなこと言われても私はどうもないんですけどねえ。。。」といった感じの反応をなさいます。今まで検査したことがないから知らなかった、もしくは数年前に受けたがそれっきりという方も多いです。皆さん、自覚症状はほとんどありません。術前検査で偶然病気が見つかった方は場合によっては手術を延期して、内科疾患から先に治療を行うこともあります。そうすると皆さんかなり落ち込まれます。でも、自覚症状なく見つかる病気の多くは治療の方法があります。病気に対して前向きに考えましょう。早く見つかった病気は治療できるものが多いのです。そして、今後も健康診査(健診)を定期的に受けていただくようお話ししています。健診は地方自治体が老人保健法に基づいてがん検診を含めた健診を行っています。この機会を逃す手はありません。健診は人間ドックとは検査内容が違うため同列に比較することはできませんが、それでも人間ドックより格安で自分の体をチェックができるのです。「そういえば市(町)から健診がどうとかって回覧板

が来てたけど、いつだったかしら?」と思った方、分からぬときは各市町村担当科に問い合わせてみましょう。健やかに年を重ねるため、あなたの大切な人のため、自覚症状がなくても、是非健診を受けてください。



婦長さん・主任さん

3階病棟
看護主任 藤野 八百子

こんにちは!

私は3階の回復期リハビリ病棟の主任と、地域連携室の担当をしている藤野八百子と申します。珍しい名前で「やゆこ」と正確に読まれた事はありません。祖父がつけてくれたそうですが、由来は聞けずじまいです。



昨今、高齢者の一人暮らしについてよく話題になりますが、都城も例外ではありません。介護保険についても「聞いた事はあるが、良く解からない」という声を良く耳にします。こういった方々のご相談に応じながら、どういう使い方が出来るかを、地域の担当者・ご家族等と相談しながら安心して退院後の生活ができるようお手伝いをするのが、地域連携室の仕事のひとつです。時には、自分の無力さに落ち込む事もありますが、退院時の患者様、ご家族の「ありがとう」の言葉に救われています。

これからも、もっと色々な情報を収集してよりよい細やかな情報を提供出来るよう病棟スタッフ、地域連携スタッフと協力して、努力したいと考えています。何か、お困りの事や尋ねたい事があればいつでも声を掛けて下さい。お待ちしております。

Medical Professional

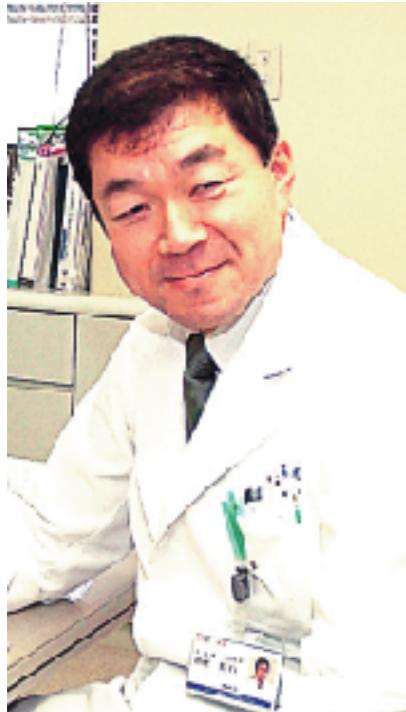
医の達人

スーパーDr ドクター

広告

■取材協力 医療法人 社団 橘会 橘病院

■企画・制作 読売鹿児島広告社



(かしわぎ・てるゆき)

(略歴)

1961年生まれ。昭和63年3月宮崎医科大学卒業、同大学医学部付属病院医員(研修医)(整形外科)として勤務。以後、恩賜財團済生会日向病院医師(整形外科)、宮崎医科大学医学部付属病院医員(整形外科)、医療法人康仁会谷村病院医師(整形外科)、熊本市立熊本市民病院医師(麻酔科)、宮崎県立日南病院医師(整形外科)を経て、平成6年宮崎医科大学医学部付属病院助手(整形外科)に就任。11年、アメリカ・ペンシルベニア州とバージニア州に留学。12年3月橘病院(整形外科)勤務。18年11月橘病院院長に就任。現在に至る。12年にはアメリカ・ネブラスカ州立大学メディカルセンターにてMISを研修。

(免許・資格)

昭和63年5月第82回医師国家試験合格・医師免許取得

平成7年日本整形外科学会認定医取得・日本リハビリテーション学会認定医取得

人工関節置換術

医療法人 社団 橘会 橘病院

院長

MIS手術(最小侵襲)で筋肉温存、社会復帰も早く

変形性股関節症や変形性膝関節症に対して、壊れた関節を人工関節に置き換える「人工関節置換術」。耐用年数には限度がある人工関節だが、材質、デザインとともに手術技術の進歩により、耐久性も向上しつつある半面、手術で筋肉や靭帯などを損傷しかねず、早期回復が長引くなどの問題があった。しかし、最近は患者の負担を軽減したMIS手術(最小侵襲)が脚光を浴びている。このMIS手術に取り組んでいる医療法人社団橘会橘病院院長の柏木輝行氏に、人工関節置換術からMIS手術まで話を聞いた。

末期の関節症であれば「人工関節置換術」も

● **変形性股関節症・変形性膝関節症に対する治療として脚光を浴びている「人工関節置換術」についてお聞かせください。**

変形性股関節症や変形性膝関節症に対する治療は、20年ぐらい前までは「骨切り術」が主流を占めていました。しかし、現在では患者さんの壊れた関節を人工関節に置き換える「人工関節置換術」が、手術手技や、人工関節の材質の進歩などで、その機能が向上しております。

骨切り術は変形した関節や骨の形を整える手術ですが、入院期間やリハビリは長期に及び、社会復帰も遅くなります。特に変形性股関節症の場合、松葉杖を用いる期間が数ヶ月にわたると日常生活だけでなく、社会的にも影響が出てしまうことから、人工関節置換術を選択するケースも増えてきました。

これまで人工関節の大きな問題としては、人工関節のゆるみにより耐久性には限度があることであります。個人差はあるものの、耐用年数はだいたい15年~20年ほど。

もちろん、若い世代でも末期の関節症で骨切り術でも痛みなどの症状が改善されない場合には人工関節置換術を選択することもあります。仮に50歳の方が関節症に

く

なり、もし10年保存療法を行つても、関節症がさらに進行すればその時点で人工関節置換術を受けた場合、成績自体が落ちる可能性もあります。比較的若い年代で関節症の進行がなければ、骨切り術でも対応できますが、患者さんの病状や病状、あるいは日常生活や社会的活動などを考慮して、骨切り術か人工関節置換術を選択すべきだと考えます。

● **人工関節の耐久性はどのようになります。**

● **人工関節の耐久性はどのようになります。**

● **摩耗粉を極力抑えた親和性の高い材質登場**

● **人工関節の耐久性はどうなっていますか。**

● **人工関節の耐久性はどうなっていますか。**

● **人工関節は、当初テフロンから始まり、ポリエチレン、セラミックの材質が使われていましたが、摩耗により生じた摩耗粉が骨を溶解させることで、人工関節のゆるみを招いています。**

そこで、最近は摩耗粉を極力少なくした骨との親和性の高い材質が登場し、またデザインも改良され、あるいは手術技術の進歩により耐久性は高くなっています。最近では高分子ポリエチレンやチタン合金、さらにはハイドロキシアパタイトをコーティングして骨との親和性・融合性を高めた材質が登場してきています。

一方、人工関節のゆるみは材質だけでなく、骨粗鬆症が原因により生じることもあります。しかし、最近は骨粗鬆症の治療薬も進歩し、さらに筋力強化など運動療法のプログラムも充実してきており、これらを組み合わせることで人工関

節の耐久性も向上しています。また、人工関節置換術は壊れた関節軟骨を除去して、人工関節に置き換えるものですが、場合によっては一部正常な骨も取り除く必要があります。将来2回目、3回目の中再置換術になれば、新たな骨移植するという方法がありますが、生き残るのが望ましいと思います。そこで、私どもは手術の際に、使える自家骨を保存するボーンバンクを始めしており、例えば股関節では骨頭、膝関節なら脛骨の一部を保存し使うようにしています。

● **さて、「人工関節置換術」を行って、人工関節置換術では股関節にしろ膝関節にしろ15センチほども皮膚を切開していまして。通常の人工関節置換術では股関節にしろ膝関節にしろ15センチほども皮膚を切開していまして。MIS(最小侵襲)手術を積極的に行っているようですが、これはどういう手術ですか。**

● **筋肉や靭帯の損傷を最小限に抑える**

● **さて、「人工関節置換術」を行って、人工関節置換術では股関節にしろ膝関節にしろ15センチほども皮膚を切開していまして。MIS(最小侵襲)手術を積極的に行っているようですが、これはどういう手術ですか。**

● **通常の人工関節置換術では股関節にしろ膝関節にしろ15センチほども皮膚を切開していまして。MIS(最小侵襲)手術を積極的に行っているようですが、これはどういう手術ですか。**



人工関節置換術の皮膚切開図

通常の手術 MIS手術

通常

検査科だより

検査課 山田美都子

こんにちは、検査科の山田 美都子です。いつも検査室、エコー室、点滴室を行ったり来たりしている臨床検査技師です。臨床検査技師ってどんな仕事しているの?と思われる方が多いので、簡単に説明致します。大きな総合病院に行くとよく「中央検査室」という看板を目にすると思います。そこでは主に患者様から採取した血液、尿、組織などを、形態学的、化学的に検査して、よく耳にするGOTやGPT、白血球数などの検査データを医師に素早く知らせる仕事です。また「生理検査室」という所では、患者様と接して心電図をとったり、脳波を調べたり、エコー検査を受けたりする、いわゆる患者様の身体に直接ふれる仕事をしています。当院では、主に、心電図、血圧脈波検査、エコー検査などを行っています。私自身「生理検査室」勤務が、他院にいた頃から数えて約20年になりますから、検査をして患者様と接する事に喜びを感じて仕事をしています。

また、当院は整形外科ですから、そこでどんな仕事があるの?、と、まあ内科系、外科系に勤務する他院の検査技師仲間からよく聞かれたりします。整形外科的症状の足が痛い、しごれる、ムクむ、腰が痛いなどでも、原因が内科的からのものか、本当に整形的なものか、判断するには、専門医の診断がベストです。それを診断する手助けとして、

- ① 血液検査で、リウマチになっていないか、糖尿病になっていないか。
- ② 心電図検査で、不整脈になっていないか、高血圧性の心肥大になっていないか。
- ③ 血圧脈波検査で、血管に動脈硬化が起きていないか。
- ④ エコー検査で、心臓、肝臓、腎臓の異常がないか、動脈、静脈血管に血栓ができていないか、皮下に「できもの」ができていないか。

などを調べて、より確実な診断を受ける事ができます。整形外科病院としては、患者様の病気をある程度、総合的に診る事ができます。

私自身、膝の手術の入院経験者ですから、総合的に診てもらう安心感の半面、手術への不安、痛み、リハビリの辛さはとてもよく分かります。ですから検査を



する時は、患者様にきちんと説明をして、分かりやすい検査をするよう、心がけています。また、2階3階病棟にも行ったり来たりしていますから、お気軽に声をかけて下さい。世間話でも冗談でも、もちろん検査の事でも、何でもオッケーです。どうぞよろしくお願ひします。



研修会

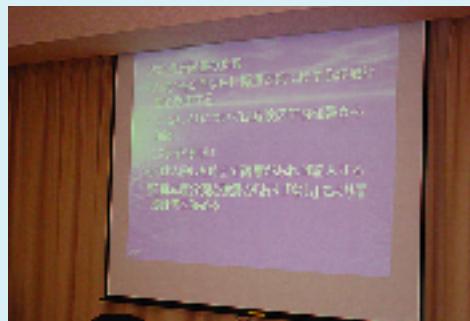
「褥瘡について」のマニュアル勉強会を行いました

褥瘡に対する、危険因子や予防・評価・使用薬剤についての重要性を再認識し、患者様へより良い医療・看護を提供できるようスタッフ一同努めて行きたいと思います。

出席者54名

(職員アンケートより)

- ・褥瘡の深さ、大きさ等、参考写真があれば分かり易かった。
- ・今褥瘡のある患者様の状態を知りたい。
- ・薬剤については分かりやすく大変勉強になった。
- ・褥瘡評価から報告までの流れが良く分かった。



平成19年7月21日(土)

夏祭り

昨年、初めて開催しご好評頂きました「祭り たちばな」第2回目となる今回は、演歌歌手 ちくらひろしさんのステージや病院スタッフによるソーラン節、盆踊りなど盛大に行うことができました！！

中でも、「祭り たちばな」のフィナーレを飾ったソーラン節には患者様からのアンコールを頂くなど大変な盛り上がりとなりました。

入院患者様のみならず、外来の患者様にも参加して頂き皆様と病院スタッフが一体となって、ステキな夏の思い出をつくる事ができました。



(記事 森山 善子) 2007年8月25日(土) 開催

夏祭り 2

8月1日(水)毎年恒例の中町祇園祭りがありました。

当院スタッフも参加しました。

この日も暑い1日でしたが、町の方に声をかけていただき元気がでました。



(参加スタッフ 山口・西川)

「実習を終えて」

鹿児島ハイテク専門学校
医療情報管理システム学科3年
小園 省吾
(実習期間 平成19年5月14日～5月25日)



橋病院で病院実習をさせていただいて現場の仕事と学校の勉強とでは違う所がいくつかあり驚きました。診療情報管理士の仕事の内容は大体把握して実習に臨んだつもりでしたが、実際にやってみると自分が考えていたよりも大変な作業ばかりで診療情報管理士がいかに大変かすごく実感しました。診療情報管理士になる為にはもっと勉強しないといけないなあと感じさせられました。病院実習を通してカルテが読めるようになり、診療情報管理士の業務内容を明確にすることができるで学校では経験できないようなことを沢山吸収できたので充実した2週間を過ごせたと思います。病院実習で学んだことを忘れずこれから勉強に活かせるように頑張りたいと思います。

鹿児島ハイテク専門学校
医療福祉事務OA科
堀江 千尋
(実習期間 平成19年8月27日～8月31日)



今回、医療事務の実習をさせていただきました。色々なことが学べて、とてもいい経験になりました。私も早く医療事務の仕事に就けるように頑張りたいと思います。5日間ありがとうございました。

学校法人 原田学園
鹿児島医療技術専門学校
飯盛 香澄美
(実習期間 平成19年5月7日～7月14日)



私は今回、橋病院で10週間の長期実習をさせていただきました。この実習で、たくさんの方との出会いがありました。その中で3人の患者さんのリハビリを担当させていただき、多くのことを学ぶことが出来ました。また、患者様一人一人が術後のリハビリを一生懸命されており、その姿に励まされることもありました。

この実習を通して様々なことが体験でき、とても勉強になりました。ここで学んだ事を今後に活かし、次の実習でもがんばりたいと思います。ありがとうございました。



「膝人工関節手術を受けて」

牧崎 和子



「迷わず信じてお任せする」

津曲 一衛

第二楽章は明るく！

暖冬といわれたこの冬も、寒がりの私にはやっと春が近づいてきたなと心うきうきの今日この頃です。それもそのはず 昨年の今頃は手術を前にして不安と緊張の連続で、とても春を愛する余裕などありませんでした。思えばこの10年余り膝関節症に悩まされ、整骨院をはじめあちこちの病院を東京、宮崎と渡り歩きました。そして柏木先生の評判を耳にして辿りついたのがこの橘病院でした。ピンチはチャンス！今では柏木先生のお力で右膝は快調そのものです。手術の成功をターニングポイントに、それはまた私の第二楽章の始まりでもありました。これもひとえに先生を始めとしたスタッフの方々の思いやりと行き届いた看護に日々感謝の気持ちで一杯です。これからもいろいろ人の支えに感謝しながら私の第二楽章はあくまで明るく豊かに奏でたいものと思っています。

七夕（記事 井之上 紗）

今年も七夕がやってきました。
皆さんは短冊にどんなお願い事を
しましたか？



当院では毎年恒例にて綺麗なお姉さんと雄雄しい
お兄さんをスタッフより選出し 織姫☆彦星に扮して各病室を牛さんと共に廻り一緒に写真を撮る等、



患者様も大変喜ばれました。食事も
いつもとは違いお弁当箱に容れられ
彩も綺麗な物で好評でした。職員の
私たちも楽しい一日を過ごす事が出来ました。



【七夕】(平成19年7月7日(土)開催)

●皆さんから何か疑問に思われることやご質問があれば、当院の医師、看護師、理学療法士、栄養士、薬剤師、放射線技師、事務員があ答えいたしますので文書や口頭、メールでかまいません。お寄せください。

(メールアドレス info@tachibana-hospital.jp)

私は、昨年3月に左側を、7月に右側の人工股関節置換術を受けました。振り返って見ると痛みに耐える苦しい日々の連続でした。5年前から腰脚膝等の痛みを覚え、聞きづてに整骨院、はり灸、プール歩行、湯治等々試みましたが何れの場合も一時的に良くなった様な気がしただけだったのですね。変な話の様ですが或る夜それも明け方にお告げとも覚しき夢を見て迷わず病院を訪ねました。柏木先生に診察して頂いたところ、末期症状とのことでした。尋常ではない痛みに悩んでいた私は、即座に手術をお願いしたことでした。入院期間は約1ヶ月位で元気に退院することが出来ました。今になればもっと早く手術してもらえば良かったと自分も家族もみんなそう言う。でも当人にしてみると第一手術は恐い。だから何とか体にメスを入れることなく治せないものかと期待する。しかし手術は全く痛みがなく何ら心配することはありませんでした。柏木先生とスタッフの皆さんのおかけです。術後半年余り、今はあれ程苦しみ抜いた痛みはすっかり無くなり車の運転も出来、日常生活に何の支障もありません。ただし退院後も1日に百回程度パテラセティングとSLRを欠かしません。素直な程言いつけを守っています。

私の述懐

迷わず信じて安心してお任せできて本当に良かったなあ・・・と、スタッフの皆さん本当に有難うございました。

標語

- 6月 ☆四方八方 目配り 気配り 心配り
- 7月 ☆忘れまい はっ!とした時 その気持ち
- 8月 ☆努めましょう 明るい挨拶 笑顔で行動
- 9月 ☆信頼関係 大切なことは あいさつと言葉使い

橘病院の理念(私たちがめざすこと)

当院は「医療の質の向上」を追求し、患者様(家族)と職員・スタッフがともに「心ゆたか」になれる病院を目指します。

患者様の1日も早い社会復帰(家庭、就労、就学など)を願い、地域住民から安心され、信頼され、共感を得られる病院づくりを目指します。

広報委員

新留 ひとみ・森山 善子・連城 幸枝・中村 みゆき・池之上 浩紀・今西 由紀子・田中 美佳・山元 加代子・山下 みさ子・増田 真樹・山口 光生・小川 達矢・野口 勇樹・椎葉 まさみ・園木 望水・和田 麻衣・井之上 紗